

「支え合い自ら輝く地域づくり」を目指して

～内藤生活支援コーディネーターより活動報告～

「老人クラブ」は身近な地域活動の一つではないでしょうか。今や超高齢社会。元気な高齢者がたくさんいますが、立科町の老人クラブの支部の数は減ってきているのが現状です。それでも、活発に活動している老人クラブはいくつもあります。

生活支援コーディネーターの宣伝をしたら？と声を掛けてくださる支部長さんもいて、とてもありがたいです。

最近参加させていただいた古町の老人クラブは年に8回程行事があります。今回は、駐在さんによる特殊詐欺についての講話と懇親会でした。その後少し時間をいただいて、健康寿命と社交性の関係についてのお話をさせていただきました。行事の告知には、有線放送のページング機能を利用して、役員の負担を減らす工夫をしているそうです。



もう1つ、塩沢老人クラブは年に6回程行事があります。今回は諏訪神社の清掃&花畑片付けにお邪魔しました。大量の落ち葉で埋め尽くされた神社が、沢山の参加者の皆さんの手であつという間に片付けられ、ものの30分程でキレイになりました。肉体労働の後はやはり懇親会。新事業の宣伝をさせていただきました。長い付き合いのある顔ぶれの懇親会は、とても盛り上がりまして楽しいものでした。こうやって近所との繋がりが続いていくんだな、と改めて老人クラブのすばらしさを実感しました。

こちら 地域包括支援センターです!

高齢者支援係

認知症サポーター養成講座を開催しています

町では、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の人やその家族を支える応援者である“認知症サポーター”を養成しています。

“認知症サポーター”とは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。昨年度に、町では認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法等を住民に伝える講師役となる“キャラバン・メイト”を30名養成し、このメイトさん達が少しずつ家族や職場、地域にて、認知症サポーター養成講座を開催してくださっています。

地域の集まりや企業等にも出向いて開催いたしますので、ご希望の方は地域包括支援センターまでご連絡ください。(認知症サポーター養成講座の時間は60～90分程度です。)



●お問合せ先

地域包括支援センター（高齢者支援係）

電話 88-8418

地域包括支援センター・高齢者支援係